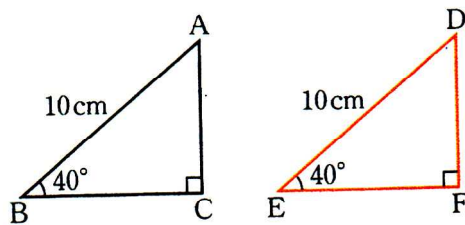


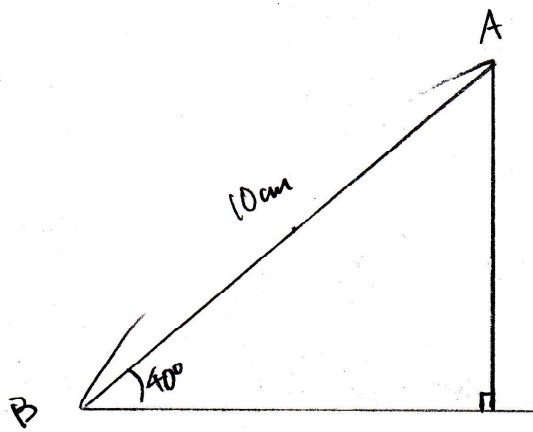
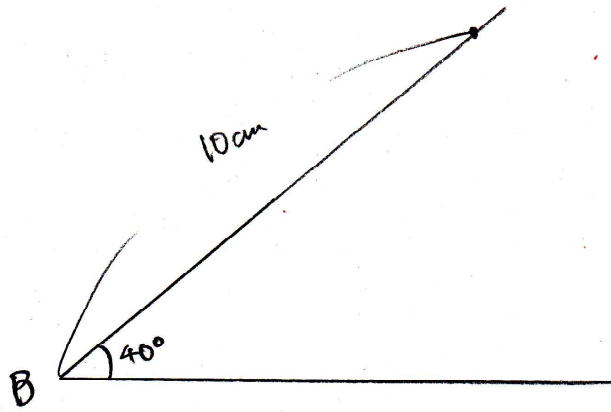
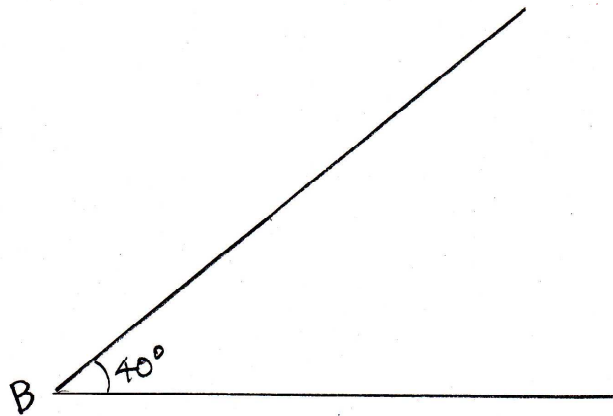
P 1 2 8 2 直角三角形の合同

ひろげようを読んでください。

「まずは、教科書とまったく同じ、合同な直角三角形を書いてみましょう」

「分度器で 40° の角 $\angle B$ は作図してあります。それを利用してください。」





(手順を発表させる、もしくは、確認して黒板に作図を完成する)

「こうしてできあがった直角三角形は合同と言えますか？」

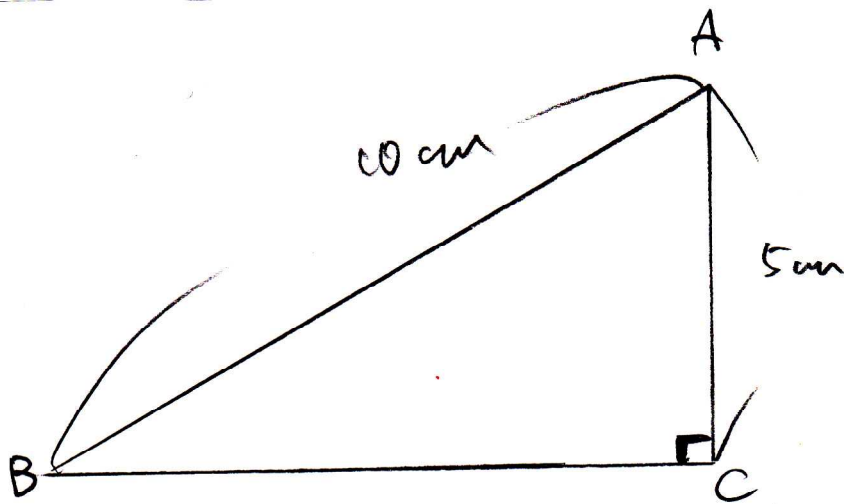
「残りの一つの角は 50° なので1組の辺とその両端の角が等しいので合同である。」

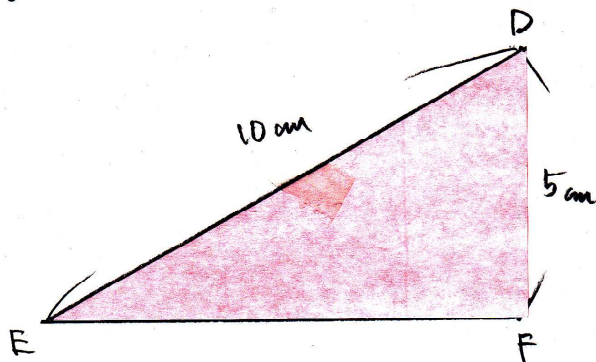
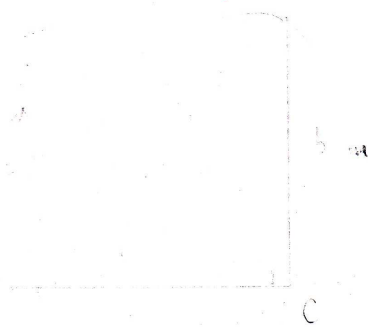
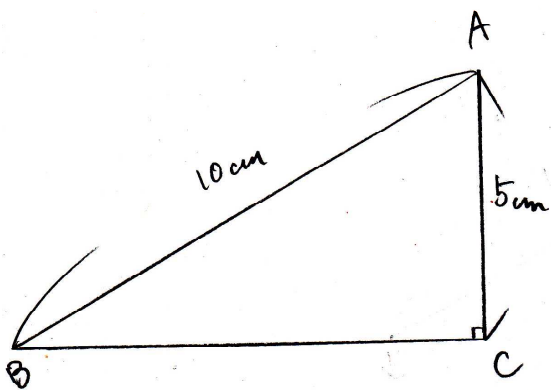
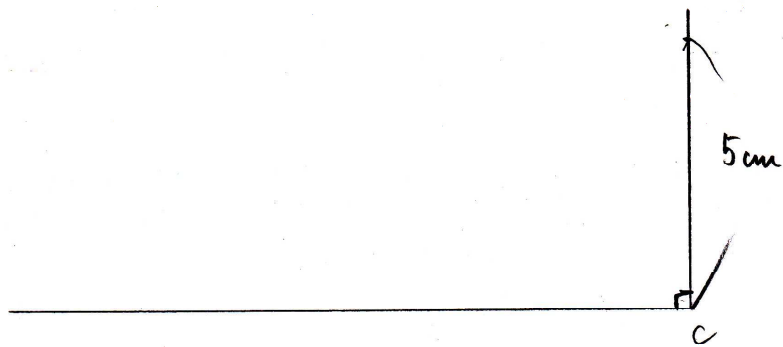
「直角三角形で直角に対する辺を**斜辺**といいます。」

今確認したことを文章にまとめると

「**直角三角形**で**斜辺**と一つの**鋭角**がそれぞれ等しいとき**合同**である」

次にこんな直角三角形を書いてみましょう。





(手順を発表させる、もしくは、確認して黒板に作図を完成する)

「こうしてできあがった直角三角形は合同と言えますか？」

(色紙を配りその裏に同じ手順で直角三角形を書き△DEFとする。)

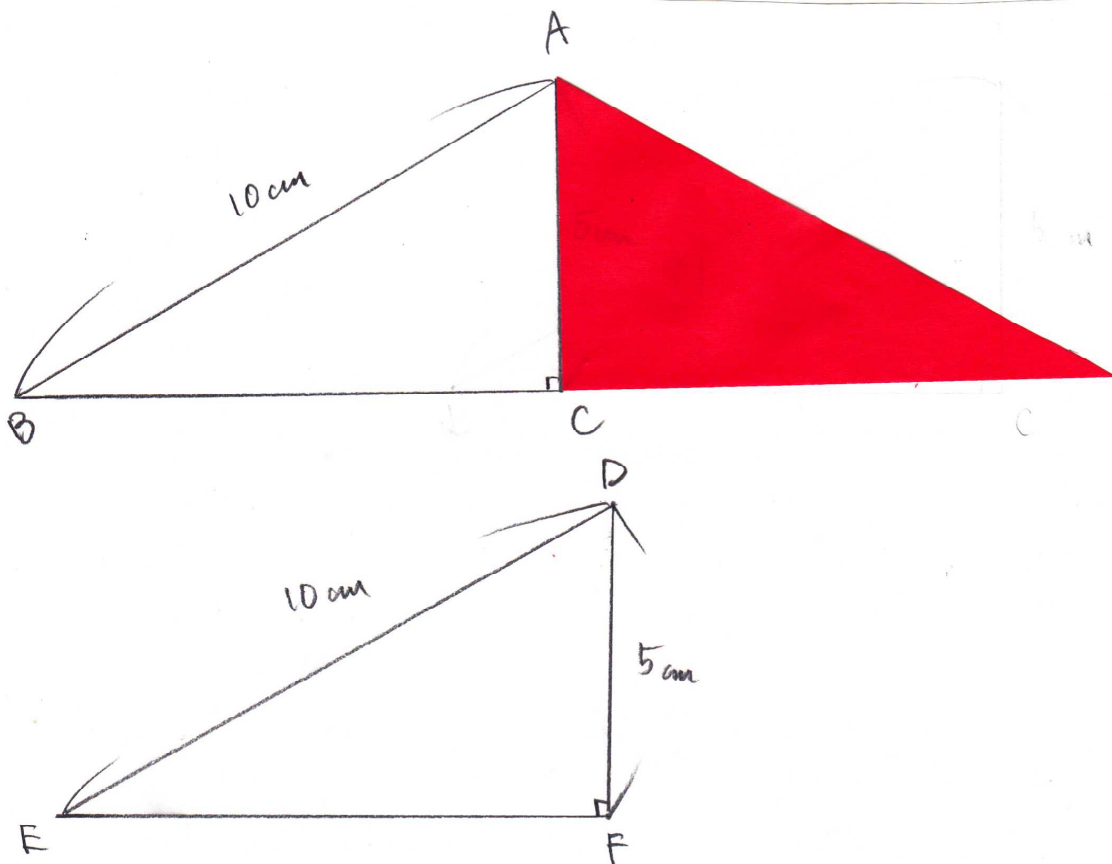
はさみで切り取り裏返して等しい辺 5 cm をくっつける。

$\triangle ADE$ について言えることは何か？

「 $AB = AE$ の二等辺三角形」

「底角は等しいので」 「 $\angle B = \angle E$ 」

これでさっきの直角三角形で斜辺と一つの鋭角がそれぞれ等しいので合同と言える。



今確認したことを文章にまとめると

「直角三角形で斜辺と他の一辺がそれぞれ等しいとき合同である」

これまでに調べたことをまとめると、

直角三角形の合同条件

1. 斜辺と一つの鋭角がそれぞれ等しいとき
2. 斜辺と他の一辺がそれぞれ等しいとき

(合同条件 5 つ暗唱させたい、すぐできる。)

問2 「問2を読んでください。」

